

土砂災害に備えて



梅雨の季節になり、大雨や長雨により土砂災害の発生が懸念されます。被害にあわないよう普段から雨に注意し、危険だと思ったら早めに避難しましょう。

6月は「土砂災害防止月間」です。この機会に土砂災害と避難について、ご近所や家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

土砂災害とは…

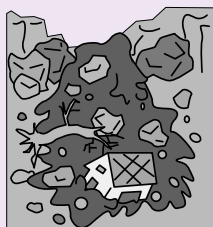
大雨などが引き金となり、山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が川から流れ出し、私たちの命や財産を脅かす自然の災害です。主なものとして「土石流災害」「地すべり災害」「がけ崩れ災害」などがあります。

地すべり災害とは…

緩やかな傾斜の場所で、粘土のような滑りやすい地層に雨水などがしみ込み、その影響で地面が動き出す現象です。

土石流災害とは…

谷や山の斜面から崩れた土や石などが、梅雨の長雨や台風の大雨による水と一緒にあって、一気に流れ出す現象です。



がけ崩れ災害とは…

急な斜面の地中にしみ込んだ雨水により、突然崩れ落ちる現象です。地震によって起こることもあり、崩れた土砂は斜面の高さの2～3倍に相当する距離まで届くことがあります。



土砂災害から身を守るには

- 1 土砂災害の多くは、雨が引き金になって起こります。長雨や大雨で危険だと思ったら、早めに避難しましょう。雨の目安としては、1時間に20mm以上または、降り始めからの総雨量が100mm以上になったら十分注意してください。

いなべ市では、インターネット、携帯電話または電話で雨量情報をお知らせしています。

インターネットアドレス

<http://www.city.inabe.mie.jp/~sabou/hp/index.html>

iモード・ボーダフォンライブ

<http://www.city.inabe.mie.jp/~sabou/iv/index.html>

EZ-web

<http://www.city.inabe.mie.jp/~sabou/e/index.html>

電話

74-5890 (いなべ市内全域)
46-6320 (藤原町内のみ)

- 2 土石流は時速40～50kmのスピードで流れるため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して、直角に逃げるようにしましょう。
- 3 異常に出水しているところや、ひび割れが発生している場所には近づかないようにしましょう。
- 4 日ごろから家族全員で避難場所や避難した場合の連絡方法を決めておきましょう。
- 5 危険だと思ったら、まず避難所へ避難しましょう。

いなべ市では、「防災ガイドブック」「防災ハザードマップ」「土砂災害ハザードマップ」などを配布しています。

身近な危険箇所や災害への備え、また避難について詳しく説明しています。ぜひご覧いただき、いざという時に備えてください。